## 第3回臨時会

駒小体育館新築工事と吉中校舎増築工事の請負契約の締結



年度内の完成が求められる (吉中校舎増築)

【ミニ解説】条例により、町が5千万円以上 の工事請負契約を結ぶときは、議会の議決が 必要となります。

## 池下·飯塚特定建設工 5億2668万円 条件付き一般競争入札 ○契約金額 による契約 ○契約の相手方 ○契約の方法 請負契約の締結 駒小体育館新築工事

条件付き一般競争入札

)契約の方法

による契約

1億8920万円 )契約金額 )契約の相手方

請負契約の締結 吉中校舎増築工事

2件が提案され、

原案通り可決しました。

令和元年7月11日に臨時会を開き、議案

|        |                 |          | 議員名     | 結果 |   | <u>ارٰ</u> ، | 富岡 | 飯塚 | 廣嶋 | 富岡 | 金谷      | 五  | 村越 | 坂田 | 飯島 |            | 平  | 小池 | 山畑 |    |
|--------|-----------------|----------|---------|----|---|--------------|----|----|----|----|---------|----|----|----|----|------------|----|----|----|----|
| 議案番号   |                 |          |         | 賛  | 反 | 議            | 林  | 岡  | 塚  | 嶋  | 岡       | 谷  | 十二 | 越  | 田  | 島          | 﨑  | 形  | 池  | 畑  |
|        |                 |          |         |    |   | 議決結果         | 静弥 | 栄  | 憲治 |    | 大       | 康弘 | 嵐善 | 哲夫 | _  |            | 信幸 |    | 春雄 | 祐男 |
|        | 議案名             |          |         | 成  | 対 | 果            | 弥  | _  | 治  | 隆  | 志       | 弘  | _  | 夫  | 広  | 衛          | 幸  | 薫  | 雄  | 男  |
| 議案第47号 | 令和元年度<br>約の締結   | 駒寄小学校体育館 | 新築工事請負契 | 11 | 1 | 可            | 0  | 0  | 0  | 0  | $\circ$ | 0  | 欠  | 0  | 0  | $\bigcirc$ | 0  | ×  | 0  | -  |
| 議案第48号 | 令和元年度<br>增築工事請負 |          | 吉岡中学校校舎 | 12 | 0 | 可            | 0  | 0  |    | 0  | 0       | 0  | 欠  | 0  | 0  | 0          | 0  | 0  | 0  |    |

飯塚組)

事共同企業体(池下工

業株式会社・株式会社

里工業株式会社·

工事共同企業体

(小野

小野里·勝野特定建設

建設株式会社

可…可決、否…否決、〇…賛成、×…反対、欠…欠席、退…退席、除…除斥議長は採決に加わっていないため「一」で表示

には反対します。

薫

議員

| 件 名                                     | 提出者   | 紹介議員  | 要旨  | 結 果        |
|---|---|-------|---|------------|
| 請願第2号<br>八幡山公園の整備及<br>び拡張の再検討を求<br>める請願 | 吉岡中学校PTA<br>会長 八木 寛子<br>駒寄小学校PTA<br>会長 長 諒順<br>明治小学校PTA<br>会長 望月 雄一<br>スポーツ協会<br>会長 大井 俊一<br>自治会連合会<br>安長 坂田 昭二 | 金谷 康弘 | 平成24年第4回議会において八幡山公園の整備及び拡張に対して80万円の調査費が計上されてから6年余りが過ぎました。しかし、現在まだ拡張工事の着手に至っていないと認識しています。更なる中学校の生徒増加を鑑み、計画の再検討と早急な着手及び完成を求めます。 | 採択<br>賛成多数 |

平形 対します。 きであり、採択には反 と捉えています。 停滞していた議論の な議論をして採択すべ 検討の発端となるもの この請願は、 6年間

再

ますが、財政状況の中 かねない状況での採決 らできると誤解を与え も必要です。採決した で優先順位などの考慮 主旨は十分理解でき

対します。 調査が必要と考え、反 小池 春雄 な点も多く、さらなる 議員

財政的裏付けなど不明 性を考えると、予算の できますが、実現可能

## 反対討論

坂田一

広

議員

願意については理解

討 論